

主催者挨拶

日本証券経済研究所理事長 増井喜一郎

最後に一言御挨拶申し上げます。

以上で今日のシンポジウムのプログラムは滞りなく終了しました。皆様、いかがだったでしょうか。私自身は、御登壇いただいた皆様方のお話を興味深く伺い、刺激を受けるとともに啓発されたように感じています。

本日、基調講演をいただいた遠藤俊英様、一條和生様、また、アメリカにおける証券業の動向について御報告いただき、その後のパネルディスカッションにも御参加いただいた吉永高士様、さらに、パネルディスカッションにおいてモデレー

ターをお務めいただいた野村亜紀子様、パネリストとして御登壇いただいた内野逸勢様、大野博堂様、笹川貴生様、新芝宏之様には、大変貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。

おかげさまで、今日のシンポジウムは私どもの研究所の設立六〇周年を記念するにふさわしい内容になったと感じています。ご登壇いただいた皆様には重ねて感謝申し上げます次第です。

シンポジウムに参加された皆様方にとって、今日の講演や議論が、今後の経営のあり方を考える

上で有益な示唆を提供するものになることを願っています。

私どもの研究所は、来月から六一年目に向けて歩み始めることとなります。今後とも金融・資本市場に関する独立かつ中立的な専門研究機関として、市場関係者の問題意識を踏まえながら、積極的に研究活動を展開していきたいと考えております。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに当たり、多くの方々が今日のシンポジウムに御参加いただいたことに重ねて感謝を申し上げます、合わせて今後の研究所の活動への御支援と御協力をお願いして、閉会に当たっての主催者の御挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。(拍手)